

いきがい

平成11年1月 第11号

発行日：平成11年1月1日 (年2回発行)

発行者：社団法人 南足柄市シルバー人材センター

企画・編集：総務部会

発行所：〒250-0105 南足柄市関本4 0 3 番地2りんどう会館3F

Tel.0465-72-0789 Fax.0465-73-4055 インターネットアドレス：<http://www.ny.airnet.ne.jp/msc/>

年頭のあいさつ

理事長 渡辺 治美



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご家族お揃いで、平成11年の新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は不況低迷の中で困難なこともあったと思いますが、会員各位がそれぞれに与えられた仕事に誠心誠意努めて頂き衷心より感謝申し上げます。これも偏に皆様方が長い間培った豊富な経験や知識、技能を社会に還元して行こうとする前向きな姿勢の表われだと思えます。こうした多くの仲間をつくり、楽しい触れ合いの中で生き甲斐を感じ、完成の喜びを味わいながら、日々新たな気持ちで精進して下さることが何よりも大切なことです。

21世紀に向かって益々高齢者が増える中で、老後の生活をどうするかは誰もが考えるところです。健康であれば働きたいという意欲を燃やすのは当然であり、シルバー人材センターはそうした方々の拠り所として、本年も益々会員を増強し就業の場を開拓して、少しでも仕事に就けるよう努めて行きたいと思えます。

働くためには健康でなければならないし、健康は自分で守り自分で作るものです。病氣一つない健康体と云っても事故は一寸した心の弛みや不注意から起こることが多い。このような意味合いから安全管理講習には一段と力を入れて行きたいし、技術、技能の講習も実施して行きたいと思えます。

本年も昨年引き続き各部会の活動を盛んにして、アンケートの結果を検討しながら、各人の知恵を出し合い、シルバーのより良い運営をして行きたいと考えております。特に職場の開拓は重要なポイントになってくるでしょう。やはり会員皆様の誠実な働きぶりや、人の接し方によって地域の信頼を高めることが、受注回数を多くし、仕事の場を拡大する要素となるのは必定です。今年は理事の皆様が手分けで、企業訪問等が実施できたらと考えております。

経済不況の波も更に強く押し寄せてくる中で、国、県からの補助金も削減傾向にあり、運営面でもかなり考慮しなければならない点が出てきます。そのうえ平成12年度には、シルバー設立10周年という節目の年を迎えます。どうぞ皆様方の深いご理解とお力添えを切にお願い申し上げます。

最後にシルバー人材センターの益々の発展と皆様のご健勝並びにご多幸をお祈りして年頭のご挨拶といたします。

年頭のあいさつ

南足柄市長 鈴木 佑



新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

シルバー人材センターにおかれましては、平素より、働く意欲のある高齢者の就業機会の確保や生きがいと健康づくりのために積極的な事業の展開をされ、地域社会の発展にご貢献いただいておりますことを心から感謝申し上げます。また、会員の皆様には、日頃から福祉をはじめ市政全般にわたりご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、昨年は、保健・医療・福祉が連携した総合的なサービスを提供するための拠点施設となる（仮称）総合保健医療福祉センターの建設に着工することができ、市営向田住宅の建設や狩川左岸堤防道路遊歩道、運動公園の整備など、潤いと魅力あるまちづくりを進めることができました。また、環境基本条例に基づいた「環境美化重点区域」の指定や「水資源の保全及び利用に関する条例」の制定、さらに、本市の環境保全に対する基本的姿勢を明らかにした「環境都市宣言」を行い、21世紀の快適な都市環境づくりへ向けて大きな一歩を

標すことができました。今後とも市民、事業者、行政が一体となってより良い環境づくりに向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

さて、社会経済情勢は、長引く景気の低迷等の影響により極めて厳しく、地方分権や行政改革、規制緩和といった抜本的な改革が進められる中で、行政といたしましても数々の課題に直面しております。また、少子・高齢化や情報ネットワーク化の急速な進展に伴い、私たちの暮らしや地域社会も大きく変化しつつあります。このような状況の中で、変革といわれる時代の潮流に的確に対応しつつ、徹底した経費の節減と合理化に努め、簡素で効率的な行財政運営に取り組む所存であります。

本年は、（仮称）総合保健医療福祉センターの完成に向けて建設を進めるとともに、介護保険制度の円滑な実施に向けた諸準備など、健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。また、たくましく生きる子どもたちの育成を目指した教育の充実や環境、防災対策の充実、都市基盤の整備など、第三次総合計画に基づいた諸施策を推進し、「自然のいぶきを感じ、心かよいあう未来へはばたく都市」の実現に向けて努力してまいりたいと考えております。

私も、市長就任以来2期8年、節目の正月を迎え、改めて気持ちを引き締め、これらの山積する行政課題に全力をあげて取り組む決意であります。

終わりに、シルバー人材センターのますますのご発展並びに会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。

事業実績の中間報告をします。



11月末現在の会員数は、236人（男性164人、女性72人）です。昨年同月が262人でしたので26人減っています。この1年間（平成9年12月から平成10年11月）の入退会は、入会28人、退会54人です。契約金額は79,266,226円で、昨年同月比では3.3%の減となっております。

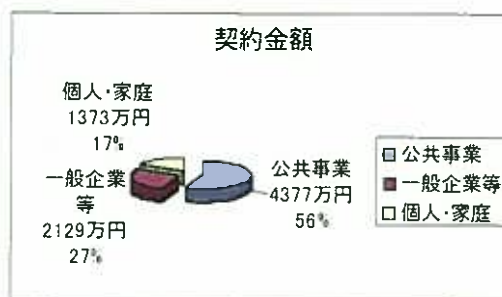
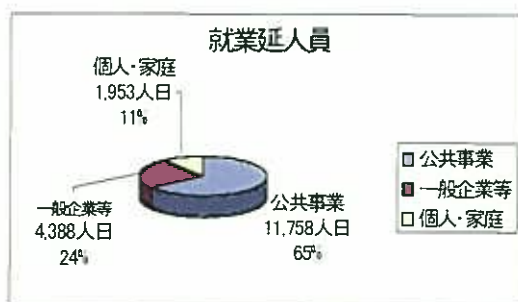
職群別内訳

事項	受注件数 (件)	職群別登録会員数 (人)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	配分金 (円)	材料費等 (円)	事務費 (円)	契約金額合計 (円)
技術群	1	5		24	28,040	0	1,960	30,000
技能群	435	51		2,038	13,397,436	469,770	890,973	14,758,179
事務整理群	18	14		36	118,942	0	8,258	127,200
管理群	21	39		3,289	13,851,996	0	847,281	14,699,277
折衝外交群	1	2		67	311,672	0	21,400	333,072
一般作業群	268	120		12,438	42,744,274	1,088,762	3,426,232	47,259,268
サービス群	3	5		323	1,926,468	0	132,762	2,059,230
その他	0	0		0	0	0	0	0
上段計	747	236	203	18,215	72,378,828	1,558,532	5,328,866	79,266,226

公民別内訳

下段計	747			18,215	72,378,828	1,558,532	5,328,866	79,266,226
公共事業	89			11,758	39,576,640	1,032,075	3,156,497	43,765,212
一般企業等	120			4,504	20,365,907	55,687	1,344,840	21,766,434
個人・家庭	538			1,953	12,436,281	470,770	827,529	13,734,580
独自事業	0			0	0	0	0	0

事務局では役員と一体となり、厳しい経済状況の下であっても、会員皆様と共に何とか前年実績を超えるよう頑張っております。是非、皆様からの情報等がありましたら提供をお願いいたします。



ぎんいろ 会員アンケート調査

かわら版

人の人が何らかの方法で就業仲間を探していることがわかりました。

本調査は平成10年9月7日現在の会員234名を対象に郵送返送方式で平成10年9月に実施いたしました。回答数は166で回収率は70.9%でした。ご協力ありがとうございました。概要ですが集計結果をご報告いたします。

問1 入会の理由

最も大きな理由としては「体や健康に良いと思った」で40.4%にあたる67人、次いで「経験や能力をいかしたかった」「世の中の役に立ちたかった」といった『生きがい』的な理由が上位をしめ、「生計が成り立たなかった」「他の就職先が見つからなかった」といった金銭的な理由は1%台となった。ただし、複数回答分を集計に組み込むと上記の様な金銭的理由や「友人や話相手が欲しかった」「サークル活動や旅行などに参加したかった」「何かの団体に属していたかった」等の理由もありセンターへの期待の幅広さがうかがえます。

問2 希望職種

希望職種の1位は屋内清掃と植木の手入れが同数で21人、次に公園清掃、駐車場管理、草取り、施設管理などとなっており、ほとんどの会員さんが希望職種で就業できているのではないかと伺えます。襖張り、毛筆筆耕、簡易事務などの職種については、発注者の需要以上の希望者がいることが伺えました。

問3 希望する仕事の日数・配分金

会員さんが希望する仕事の日数の平均は月に13日、配分金は53,000円となりました。就業実態は月平均8.8日、配分金平均33,000円ですので、会員の希望を下回っています。

問4 グループ就業

半数以上の会員は仲間が既に出来ており、「1人で仕事がしたい」の20人を除いた、35

問5 技能講習会

1位 植木の手入れ、2位 草刈機取扱い、3位 パソコン・ワープロとなりました。

問6 家族の反応

74%が「賛成している」、13%が「どちらでもない」でしたが、3%にあたる5人の方が「世間体/健康」を理由に反対されていました。また2人の方が「シルバー会員であることを話していない」というのもあり驚きました。

問7 仕事を続けたい年齢

約半数(49.4%)の方が「健康の続くかぎり」、次に「75歳位まで」(23.5%)、「70歳位まで」(9.6%)、「80歳位まで」(6.0%)の順になりました。

問8 交通手段

1位は「自動車」で57人、2位は「自転車」で42人、3位「徒歩」で37人となりました。また、今回のアンケートで所有する自動車の種別も記入していただきましたので、今後の就業手配の参考にさせていただきます。

問9 班活動・互助会活動

「仕事別の集まり」・「親睦会」・「旅行会」については半数以上の方が参加を希望しています。「地域別の集まり」についての参加希望は1/3にとどまりました。

紙面の都合でこの会報では全問に対して報告できませんが、今回の調査の結果を分析することによって、会員の意識の把握をし、活動推進策への貴重な資料とさせていただきます。

また、今回のアンケートのご意見・ご質問のうち2つ程お答えさせていただきます。

Q シルバーへの登録はしましたが雇い主との間に文書による雇用契約が成立しておらず口頭契約のため、就労条件が守られておりません。人材センターより雇用主への指導は

して頂けないでしょうか。

A シルバー会員の就業は、いずれとも雇用関係は成立しないこととなっております。しかし、どのような形であれ最初の就労条件が守られていないのは問題がありますので、センターとしては発注者と話し合い等には努めたいと思います。

Q センターを通さず個人契約している会員がいるとの情報があります。止めた方がいいのではないのでしょうか。

A センター会員が[会員ではなく個人]として、お客さんが納得済で契約する事は問題ないと思われませんが、[シルバー人材センターの何某]と言う事であれば好ましい事とは思えませんので、逆にセンターにご紹介いただけるよう誘導、助言できればと思います。

役員視察研修会

去る、9月28日(月)、理事16名、監事2名、職員1名で伊東市シルバー人材センターを視察研修いたしました。伊東市シルバーからは碓理事長、荻野副理事長、鈴木常務理事兼事務局長、佐々木次長に出席いただき、当センターから前もって依頼していた視察事項(組織活動・高齢者就業対策・就業の適正化対策・シルバーのPR)について丁寧な説明と資料の提供を受ける事が出来ました。



「色々な事業に取り組む中で、従来の事務局主導のセンター運営から会員、役員の自主

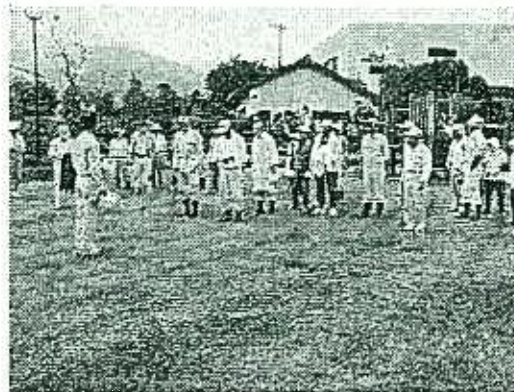
運営に向けて努力している。」といった伊東市シルバー碓理事長のことばは、今後のシルバー人材センター運営に大いに参考となる言葉ではなかったかと思います。

健康・笑顔・充実感は働く高齢者の大きな報酬



秋のボランティア活動

今回で3回目を数える奉仕活動は10月20日(火)、かながわ・ゆめ国体秋季大会開催に合わせ、大会会場周辺の美化清掃作業を実施いたしました。午前10時から体育センター周辺の道路脇の草刈作業と要定川ふれあい公園の除草・清掃作業を実施し、参加会員44名がすがすがしい秋晴れの中、除草作業と空き缶・空き瓶の回収を行いました。



作業の甲斐があり、公園等が見違える程、綺麗になったのは、言うまでもありません。当日、刈り取った雑草やゴミは、軽トラックに2台分になりました。

参加会員にはお弁当が配られ12時に解散となりました。皆様、ご苦勞様でした。

安全管理委員会便り

安全管理委員会では安全パトロールを9月30日に実施し、11月26日には交通安全講習会を開催いたしました。

安全パトロールは市内5カ所の会員就業場所を訪問。会員との面談により就業状況聞き、また委員自らの目で就業環境をチェックし、現状の実態把握と検討がされました。また、40名の会員が参加した交通安全講習会は、松田警察署依亮交通係長を講師に招き、高齢者の交通事故についての講義がされました。



パトロール・講習会を通して感じたことは、会員個々の安全意識は低くないものの、決して十分ではないと言うことです。今後は更に高いレベルの認識が必要になってくるのではないかと感じました。

安全管理委員会では今後も会員の安全について多角的に検討を行います。

事務局だより

○ 職員の異動について ○

事務局臨時職員の橋本昭子さんが、平成10年9月30日付で退職されました。退職後はセンター会員として、また社協でのボランティア活動にと活躍中です。

後任には、小松千恵子さんが採用されました。小松さんは主に庶務を担当いたします。どうぞよろしくお願ひします。

シルバーQ&A

配分金には税金がかかりますか？

センターから支給される配分金は、税法上「雑所得」となり、他の雑所得とは別にして65万円までは、控除が認められています。このため、他の所得が全くない会員は、本人分の基礎控除が加わり103万円までは非課税であり、さらに65歳以上の会員は、老年者控除153万円まで非課税となります。

なお、公的年金等その他の所得があるときは、確定申告を行う必要があるかどうか、南足柄市役所税務課もしくはセンター事務局までお尋ね下さい。

会員親睦会のお知らせ

毎年1月に春日山荘で行われる恒例の会員親睦会が本年は1月7日(木)に開催されます。午前中には健康管理に関する講習会、昼からは市長を迎え、お弁当を食べながらカラオケや囲碁でお楽しみ下さい。

健康であることはシルバー人材センター会員の第1条件です。自身の健康管理のため、会員相互の親睦のため多数の参加をお待ちしております。

日時 平成11年1月7日 10:00～

場所 春日山荘

集合 りんどう会館前 9:00

(直接山荘へ行かれても結構です)

参加費 無料

● 編集後記 ●

明けましておめでとうございます。

今年とうさぎ年。この国の景気もシルバー人材センターの事業もうさぎさんの様にピョン、ピョン、ピョーンと飛び出していきたいものです。

さて、お正月と言えは家族そろっておせちとお雑煮、それからお酒となりますが、みなさまくれぐれも飲みすぎ、食べ過ぎには注意してください。